製品安全データシート　　整理番号

1.　化学物質等及び会社情報

製品の特定
化学物質等の名称：ローヤルアロー　撥水シャンプー
製品分類：
主な用途：自動車外装の洗浄、艶出し、撥水

2.　会社情報

会　社　名：株式会社ユーエスシー
住　　所：東京都府中市日鋼町1番1　Ｊタワー
担当部門：商品開発広報部　　担当者：
電話番号：042-351-0011　　FAX番号：042-351-0010
緊急連絡先：　　電話番号：
作　成　者：　　e-mail：
制　定　日：２０１２年　２月２４日　　改定日：２０１５年　３月３日

２ 危険有害性の要約
最も重要な危険有害性及び影響
GHS 分類

物理化学的危険性	
引火性液体	分類基準外
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分３
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分１
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分３
標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル表示

・絵表示またはシンボル：

注意喚起語　　危険
危険有害性情報　　重篤な眼の損傷
軽度の皮膚刺激
眠気及びめまいのおそれ

注意書き
＜取扱い上の注意＞
換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。

取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。

＜応急措置＞

目に入った場合　直ちに清浄な流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合　直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合　多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませ吐き出させる。直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない

＜保管上の注意＞

液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける

---

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量mass%	CAS　No.	化審法No	安衛法No	PRTR法.	毒劇物法
変性シリコーン類	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
ノニオン系界面活性剤	５以下	977059-44-5	非公開	非該当	非該当	非該当
グリコール類	非公開	13517-24-3	非公開	非該当	非該当	非該当
防腐剤	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
着色剤	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
香料	微量	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
精製水	バランス	7732-18-5	非公開	非該当	非該当	非該当

注）化審法№.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法№.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法№.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法№.　毒物及び劇物取締法の政令番号

４　応急措置

目に入った場合　目に入った場合は流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
コンタクトレンズははずし、洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合　直ちに多量の水でうがいをする。異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合　皮膚に対し軽度の刺激が残るので清水を使って洗い流す。
刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　直ちに口をゆすぐこと。同時に水を飲んで薄め吐き出させる。異常があれば医師の診断を受ける

５火災時の措置

本品は不燃物質なので特別な設備などは必要としない

消火剤	該当せず
使ってはならない消火剤	該当せず
消火方法	火災に際は火元から遠ざける。
消火者の保護	火災の際は適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）着用する。

６漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏出防止、除外などの作業は、必ず、保護具を着用する。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などの浄化の方法	
多量の場合	土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。 その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。
少量の場合	ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す。

７取扱い及び保管上の注意

＜取り扱い上の注意＞

換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。
付近に着火源となるもの(火気・スパーク・高温物)の使用を避ける。

＜保管上の注意＞

液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける。

８暴露防止措置

＜製品の有害性及び暴露濃度基準＞

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
ＡＣＧＩＨ	設定されていない
保護具	保護眼がね、保護手袋等　有機溶剤用保護マスク
設備対策	特別な設備は必要としない

９物理及び化学的性質

外観	薄青色微濁液体
臭気	微香臭
比重	１．０１（原液　２０℃）
ｐＨ	中性
溶解性	水に溶解する
引火点	引火しない
爆発限界	該当せず
蒸気圧	データなし
可燃性	燃焼せず
発火点	発火しない
酸化性	なし

10 安定性及び反応性

安定性	通常の取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
避けるべき条件	高温
混融危険物質	なし
危険有害な分解生成物	なし

11 有害性情報（GHS 分類の根拠を記載）

製品についての有害性情報はないため、成分についての有害性データを示した。

シリコーン類　：現時点では、通常に取扱いによる有害性は確認されていない

ノニオン界面活性剤

急性毒性

経口　　ラットＬＤ50　２００～２０００ｍｇ/ｋｇ（類似物質）

皮膚腐食性　　データなし

皮膚刺激性　　刺激性あり（ラビット　ＯＥＣＤガイドライン４０４）（類似物質）

眼刺激性　　眼に重篤な障害を及ぼす危険性があるラビット　ＯＥＣＤガイドライン４０４）（類似物質）

呼吸器・皮膚感作性　データなし

生体細胞変異原性　情報なし

発がん性　　情報なし

ＩＡＲＣ　　リストアップされていない

日本産業衛生学会　リストアップされていない

生殖毒性　　情報なし

グリコール類

＜ヒトに対する影響＞

急性毒性

経口　　情報無し

皮膚腐食性・刺激性

皮膚刺激性　　腿の内側の皮膚に直接１ｍｌのＰＧを５～１５分間１回もしくは１２日間繰り返しつけた場合には刺激性はなかった。ガーゼに１ｍｌしみこませ医療用テープでガーゼを完全に覆い、５～１５分間貼付した場合には薄い赤色斑がみられた。背中の皮膚に１．３、１０または３０％水溶液をしみ込ませたガーゼを医療用テープで完全に覆い２４時間毎に新しいものと交換しながら３週間にわたり貼付したところ、１０および３０％水溶液で刺激性が見られた。

精度は不明だが、上記と同様の３週間貼付試験を１０人のボランティアの背中の皮膚を用いて行ったところ、１人に疑陽性反応が見られた。

重篤な眼の損傷・眼刺激性

眼に対する障害作用はないが、眼に液が入った場合、一過性の痛みや目蓋の痛み、流涙が見られるかもしれない。

呼吸器・皮膚感作性　２０％水溶液で少数（１．５％）の人が陽性と報告されたが、２％水溶液で陽性反応を示す人もいる。

生体細胞変異原性　情報なし

催奇形性　　情報なし

発がん性　　情報なし

ＩＡＲＣ　　リストアップされていない

日本産業衛生学会　リストアップされていない

生殖毒性　　情報なし

その他

成人への影響　医療用治療剤の溶媒としてＰＧを５．１～２１．０ｇ静脈内投与した場合、血液中からの平均消失半減期は２．３±０．７時間であった。また、血液中の乳酸濃度や静脈のｐＨ、血漿の浸透圧、ヘモグロビン量などに影響は見られなかった。ＰＧを尿中に排泄できない腎不全患者に、中枢神経への影響が見られた例が報告されている。

化粧品中への使用濃度は５０％までは安全であると報告されている。

子供への影響　医療用治療剤の溶媒としてＰＧを長期間または大量に使用したことによる痙や身体性毒性、高浸透圧症などの報告があるが、治療により完治した。

＜動物を用いた実験＞

急性毒性

経口　　ラット　ＬＤ50　２００００ｍｇ/ｋｇ

経口　　マウス　$ＬＤ_{50}$　２２０００ｍｇ/ｋｇ

有害性低い

皮膚刺激性・腐食性　モルモット、ウサギ、ミニブタの皮膚に希釈していない液を塗布しても刺激性は見られなかった。

重篤な眼の損傷・刺激性

ウサギに直接点眼した場合、一過性の結膜充血が見られた。また、角膜上皮細胞を取り除いたウサギ

の眼に５０％水溶液を５分間入れたが障害は見られなかった。

呼吸器・皮膚感作性　情報なし

生体細胞変異原性　サルモネラ菌　ＴＡ１００、ＴＡ１６３５、ＴＡ１６３７およびＴＡ９８またはサルモネラ菌ＴＡ９２、ＴＡ１５３６、ＴＡ１００、ＴＡ１５３７、ＴＡ９４およびＴＡ９８を用いた微生物を用いた染色体異常試験は陰性であった。チャイニースハムスター肺繊維芽細胞を用いた染色体異常試験は３２ｍｇ／ｍｌと言う著しい高用量（浸透圧４２０．５mM　最新の試験法ガイドラインの限界容量１０mMの４２倍、この濃度ではショ糖や食塩でも陽性を示す）で擬陽性または陽性であった。シリアンハムスター胎仔初代培養細胞を用いた形質転換試験は陰性であった。

発がん性　５００００ｐｐｍ（２．５ｇ／ｋｇ　体重／日　相当）を投与したラットの２年間濃餌投与試験および５００００ｐｐｍ（２ｇ／ｋｇ　体重／日　相当）を投与したイヌの２年間濃餌投与試験でも発がん性は認められなかった。

ラットおよびマウスの皮膚反復塗布試験でも発がん性は認められなかった。

生殖毒性　マウス２世代繁殖毒性試験で、ＰＧを５％まで飲水に混じて投与しても親にも仔世代にも繁殖および生殖に対する影響は見られなかった。

１０％水溶液０．２ｍｌを、交配前から妊娠期間中まで雌ラットに経口投与した。母胎や胚に奇形影響は見られず、催奇形性も見られなかった。

妊娠８日から１２日目までの５日間､雌マウスにＰＧ１００００ｍｇ/ｋｇ/日を経口投与しても催奇形性を認められなかった。

ニワトリの胚の卵黄中にＰＧ０．０５ｍｌを注入した場合でも、変化は喚起されなかった。

その他　６２５０～５００００ｐｐｍの濃度で３０匹のラットに１５週または２年間程餌投与したが、コントロール群との間に差異は見られなかった。

ＮＯＡＥＬは５００００ｐｐｍ（２．５ｇ／ｋｇ　体重／日　相当）と考えられた。８００００ｐｐｍの濃度で雄雌各５匹にビーグル犬に２年間程餌投与したが、重大な影響は見られなかった。NOAELは８００００ｐｐｍ（２ｇ／ｋｇ体重／日　相当）と考えられた。

１群雄雌各１０匹のラットに０．１６～２．２ｍｇ／ｌの濃度で１日６時間、１週６日間の割合で１３週間鼻部ばく露した。試験後半に２．２mg／l 群の雌で授餌量の減少に伴う体重減少が認められた。いずれの群においても呼吸機能や臨床検査項目に影響は認められなかった。鼻粘膜の胚細胞もしくは胚細胞に含まれる粘液量の増加が１．０mg／l 以上の群に認められたが、機関や肺に変化は認められなかった。NOEAL は１．０mg／ｌと考えられた。

---

12 環境影響情報

製品についての有害性情報はないため成分についての有害性を示した.

変性シリコーン類　現在の所、有用な情報なし

ノニオン界面活性剤

水性環境急性有害性

生態毒性　水性生物毒性　（藻類、７２Ｈ）ＩＣ50　１０～１００mg/L

（ミジンコ、４８ｈ）ＢＣ50　１～１０ｍｇ/Ｌ

水性環境慢性有害性　情報なし

残留性・分解性　生分解性良好

除去率　９０％以上　BiAS（２８ｄ)、Ｍｏｄ。ＯＥＣＤ３０３Ａ）

除去率　＞６０％　CO2 formation（２８ｄ、ＩＳＯ　ＤＩＳ　９４３９）

生体蓄積性　情報なし

土壌中の移動性　情報なし

オゾン層有害性　情報なし

その他　０．１％水溶液　ＢＯＤ５　５４０ｍｇ/Ｌ　ＣＯＤMn　５００ｍｇ/Ｌ

N-ヘキサン抽出物　６２０　ｍｇ/Ｌ

グリコール類

水生環境急性有害性

生態毒性　魚毒性　金魚ＬＣ$_{50}$（２４時間）　５０００ｍｇ／ｌ以上

グッピーＬＣ$_{50}$（４８時間）　１０ｇ／ｌ以上

水生環境慢性有害性　情報なし

残留性／分解性　良分解　２週間で９０％以上分解

ＴＨＯＤ　１．６８５ｇ　O_2／ｇ

生態蓄積性　ＢＯＰ　１以下

その他：甲殻類毒性　ミジンコ急性遊泳阻害　ＬＣ$_{50}$（２４時間および４８時間）１０ｇ／ｌ以上

---

13 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
排水処理により発生した廃棄物についても　廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

１４輸送上の注意

国連分類　該当せず
国連番号　該当せず
陸上輸送　取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送　船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送　航空法に定めるところに従う。
注意事項　運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

---

15 適用法令

消防法　　：該当せず
労働安全衛生法　　：該当せず
毒物及び劇物取締法：該当せず
PRTR 法　　：該当せず

---

16 その他の情報

引用文献

・GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト
　中央労働災害防止協会
・15107 の化学商品　化学工業日報社
・原料の製品安全データシート　各原料メーカー
・GHS 分類対象物質一覧　独立行政法人　製品評価技術基盤機構
・化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）改訂４版　国際連合

＊注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者に提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
したがって、本データそのものは、安全の保証書ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

[会社情報]

販売者：福井スズキ自動車販売(株)
所在地：福井市米松1丁目16番35号
TEL:0776-53-5311